

○建設技術フォーラムは、多発する自然災害への対応や、安全で安心して生活できる地域づくりを支えるための新しい建設技術など、中国地方の社会資本整備を支える新技術を一同に集め、各団体の展示・セミナー発表等により紹介するものであり、昭和63年から続いているイベント
今年のテーマは「安全・安心で豊かな地域づくりを支える建設技術」
～『i-Construction』の進展と新技術で取組む地域の防災・減災対策、老朽化対策～

【建設技術フォーラム2018in広島・開催概要】

日時：平成30年11月1日（木）、2日（金）
・1日目：10:00～16:30 ・2日目：9:30～15:30
場所：広島産業会館東棟（広島市南区）
主催：建設技術フォーラム実行委員会事務局
協賛：複数の一般社団法人
備考：来場者約2,000名（一般、地公体、民間企業など）



▲会場の様子



▲セミナー会場での講演の様子



▲学生向けのコーナーも有り多くの学生が来場▲



▲屋外の体験型の展示や「道の駅」の出展等も行われ、一般の来場者も見られた▲



○JCIM「ちゅうごく」ブースにおける展示の概要

- ・インフラメンテナンス国民会議の概要
 - 本部作成のJCIMパネル、パンフレット、ファクトブック
 - JCIM「ちゅうごく」の概要
 - 第3回インフラメンテナンス大賞募集ポスター、ちらし



▲JCIMの概要パネルの展示やファクトブックなどを配付

- ・企画委員として参画する企業の内、6社が自社の技術等をPR
 - 企業パネル：2社（日進工業、富士通交通・道路データサービス）
 - 企業パンフレット：3社（復建調査設計、日進工業、富士通交通・道路データサービス）
 - 企業技術リーフレット：2社（ガイアート、戸田建設）
多機能型排水性舗装、構造物の調査・診断/補修・補強/解体/構築技術
 - 展示物：ロープアクセス装備品（Roope's）（映像によるPRを併せて実施）

○展示ブースの様子

- ブースの来場者に対して活動内容のPRと併せて、会員登録を促すなど、新たな会員確保のための活動を行った



▲展示ブースは事務局メンバーで運営



▲パネルやパンフレットの展示状況

- 来場者からは、国民会議や地方フォーラムの活動内容、会員として参画した場合のメリットについての問合せが多かった



▲展示ブースに来場した方への活動内容等のPR状況▲

